

広報

よもぎた

内容

- 昭和63年度決算.....2~4
- 100周年記念イベントから.....5
- 総務課から.....6
- 陸奥湾一周駅伝競走大会から.....7
- 教育委員会から.....8
- 青年の船団想録.....9
- 農林水産課/民生課から.....10
- 民生課から.....11
- 民生課から.....12
- 総務課から.....13
- 総務課/民生課から.....14
- 談話室/行事予定.....15
- けっばる蓬田人/戸籍の窓口.....16

No.182



豊年を呼んでみたい！玉松太鼓

日本の外が浜まで落穂哉
一茶

雨続きの秋になり、稲刈りは下が悪く難渋したようだ。今年から新規導入品種『むつほまれ』の取り入れとなったが、夏の豊作予想とは打って変わって、意外や農家の顔はすぐれない。

味の良い米は、収量があまり多くないところか。

評価には、時間が必要だ。さて、今年は何周年。

村制施行百周年を記念して、郷土芸能がない我が村に新しく郷土芸能が創造される。

その名は「玉松太鼓」。

十一月十九日の記念祝賀会に披露される事になって、今若者達が熱のこもった練習を続けている。(写真)

隣の蟹田町でも「やませ太鼓」を造るといふ風の便りも届いている。

そのうち、太鼓合戦に発展すればおもしろい。

そのうち、太鼓合戦に発展すればおもしろい。

11

月

1989

●昭和63年度決算認定される

締めて十四億九千七百三十二万円

昭和六十三年年度決算が九月
定例村議会に提出され、九月
十四日認定されました。
普通会計（一般会計+学校
給食センター特別会計）にお
いて前年度と比較すると、歳
入5・5%、歳出4・9%の
増となっています。これは、
地方交付税や山村振興対策事
業費の増によるものです。
みなさんが納めた村税や地
方交付税、国・県支出金など
が、どのくらい入り、どのよ
うな形で支出されているかを
まとめてみました。



●入ったお金

依存財源78.3%			自主財源21.7%		
	千円	%		千円	%
地方譲与税	27,389	1.8	村税	168,326	10.9
自動車取得税交付金	18,800	1.2	分担金・負担金	3,073	0.2
利子割交付金	1,171	0.1	使用料・手数料	18,910	1.2
地方交付税	944,347	61.1	財産収入	15,273	1.0
交通安全対策特別交付金	2,138	0.1	繰入金	75,263	4.9
国庫支出金	43,326	2.8	繰越金	18,794	1.2
県支出金	103,217	6.7	諸収入	36,295	2.3
寄付金	400	0.0			
村債	69,900	4.5			
小計	1,210,688	78.3	小計	335,934	21.7
合計 1,546,622千円					

村民1人からいただいた村税(総額39,982円)の状況

村民税  13,208円	法人税  1,153円	固定資産税  19,778円	軽自動車税  846円	村たばこ消費税  3,475円	電気税  1,478円	※平成元年3月 31日現在人口 4,210人で算出 木材引取税 44円
---	--	---	--	--	--	--

▶ 性質別に見た歳出

区分	決算額	構成比(%)	前年度と比較増減(%)
義務的経費	733,120	49.0	4.0
人件費	528,718	35.3	3.8
扶助費	18,762	1.3	△ 10.8
公債費	185,640	12.4	6.4
投資的経費	306,318	20.4	2.7
1 普通建設事業費	289,372	19.3	4.8
補助事業	115,344	7.7	8.6
単独事業	174,028	11.6	2.4
2 災害復旧事業費	16,946	1.1	△ 22.8
補助事業	16,577	1.1	△ 18.2
単独事業	369	0.0	△ 78.4
その他	457,882	30.6	8.1
物件費	155,925	10.4	5.5
維持補修費	21,256	1.4	△ 22.9
補助費等	120,814	8.1	△ 0.9
積立金	91,200	6.1	20.0
投資出資貸付金	2,885	0.2	△ 25.2
繰出金	65,802	4.4	41.2
歳出合計	1,497,320	100	4.9

● 出たお金

▶ 目的別に見た歳出
議 会 費

50,781千円(3.4%)

- ・ 議員報酬……………29,356千円
- ・ 議員活動費…………… 4,550千円

総 務 費

315,711千円(21.1%)

- ・ 積立金(財調・減債)74,200千円
- ・ 交通安全対策費…………… 3,491千円
- ・ 財産管理費……………27,034千円

民 生 費

133,100千円(8.9%)

- ・ 老人福祉費……………25,990千円
- ・ 保育所……………55,489千円
- ・ 児童館……………11,754千円

衛 生 費

80,423千円(5.4%)

- ・ 地区環境整備組合負担金 ……23,548千円
- ・ 老人保健事業……………11,652千円
- ・ 婦人の健康づくり… 1,202千円

労 働 費

514千円(0.0%)

- ・ 労働者協議会補助金… 135千円
- ・ 出稼援護事業費…………… 100千円

農 林 水 産 業 費

261,110千円(17.4%)

- ・ 農道整備……………25,727千円
- ・ ため池整備……………12,137千円
- ・ 農免農道整備……………14,605千円
- ・ 第三期山村振興対策45,284千円
- ・ 水田農業確立対策… 6,922千円
- ・ 公社畜産基地建設 4,665千円
- ・ 集団間伐…………… 5,526千円
- ・ 部分林下刈工事…………… 2,807千円

教 育 費

224,975千円(15.0%)

- ・ 教員住宅償還金…………… 8,219千円
- ・ 小学校費……………41,150千円
- ・ 中学校費……………17,976千円
- ・ 幼稚園費……………13,403千円
- ・ 学校給食費……………52,811千円
- ・ スキー場運営費…………… 2,315千円

災 害 復 旧 費

16,946千円(1.1%)

- ・ 農地等災害復旧……………16,946千円

公 債 費

185,640千円(12.4%)

- ・ 元金…………… 113,624千円
- ・ 利子……………72,016千円

商 工 費

7,340千円(0.5%)

- ・ 商工会補助…………… 450千円
- ・ 村おこし補助…………… 600千円
- ・ 観光協会補助…………… 150千円

土 木 費

162,397千円(10.9%)

- ・ 板木沢川改修工事…19,437千円
- ・ 小学校線道路改良…20,286千円
- ・ 蓬田漁港改修…………… 8,000千円
- ・ 道路改良工事……………44,687千円
- ・ 除排雪経費…………… 4,829千円

消 防 費

58,383千円(3.9%)

- ・ 広域消防負担金……………34,726千円
- ・ 防火水槽新設…………… 8,770千円
- ・ 警鐘台新設…………… 1,200千円

村民1人に使われた村のお金(総額355,658円)の状況

総務費	民生費	農林水産業費	土木費	教育費	公債費	議会費	衛生費	労働費	商工費	消防費	災害復旧費
74,991円	31,615円	62,021円	38,574円	53,438円	44,095円	12,062円	19,103円	122円	1,744円	13,868円	4,025円

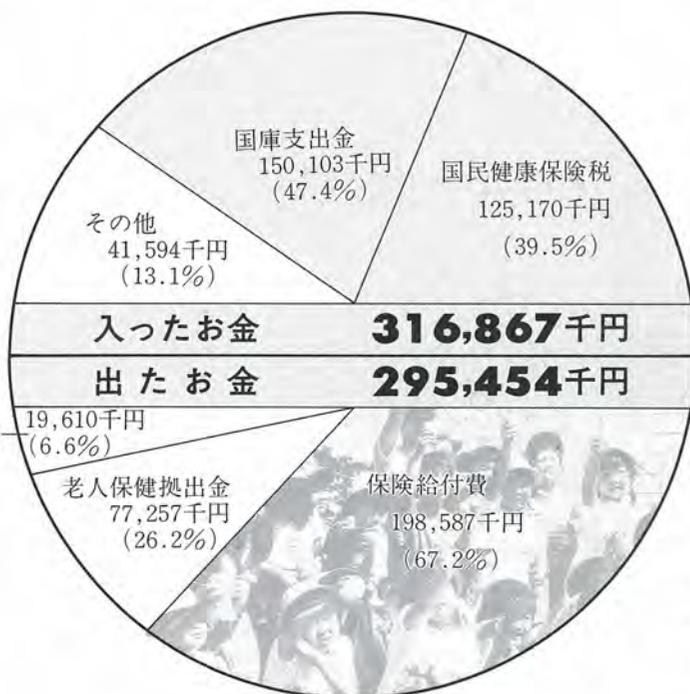
国民健康保険特別会計

加入者からいただいた国保税
一世帯当り 187,380円
一人当り 56,561円

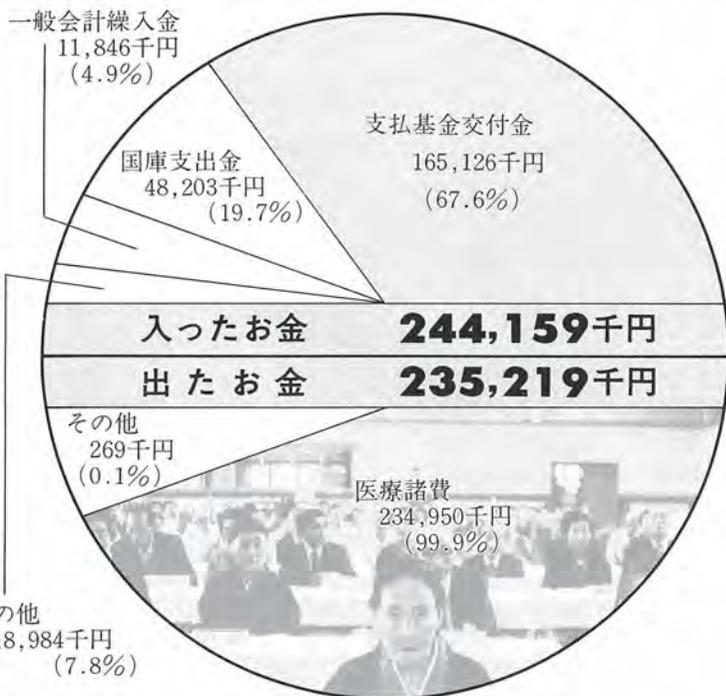
・昭和63年度
国保税収入額
125,170千円

加入者に支払った医療費
一世帯当り 297,286円
一人当り 89,737円

・昭和63年度
医療費支払額
198,587千円
※平成元年3.31現在
・加入世帯 668世帯
・加入者数 2,213人



国民健康保険特別会計
決算支収



老人保健特別会計

医療受給者に支払った
医療費
一人当り 545,128円

・昭和63年度
医療費支払額
234,950千円
※平成元年3.31現在
・加入者数 431人

老人保健特別会計
決算支収

NHK公開録画番組

『競演・ふるさとびと』

去る十月十九日(木)、今年村制施行百周年を迎えた津軽半島の四村が合同百周年イベント『競演・ふるさとばんざい』を三厩村体育館で開催しました。

参加したのは蓬田村、小泊村、三厩村、平館村で、NHK青森放送局と青森県の協力により一大イベントとなり、会場は千六百人のお客さんで賑わいました。



リハーサルは
念入りに二回実施！

十一月二日午後八時からNHK青森で放送が予定されている『競演・ふるさとばんざい』が、去る十月十九日(木)三厩村体育館で収録されました。

各村の関係者や出演者は、午前八時三十分に会場入りし、九時三十分にはドライ・リハーサルが始まり。

入場行進、応援団長の一言、村自慢クイズ、一分間の寸劇による観光PR、郷土芸能、村対抗歌合戦と続き、ゲスト歌手の音合わせで一通り。一つひとつ念入りに最終練習を兼ねてリハーサルが行われました。

応援団長はジュリーこと
坂本勝教さん！

各村が十人で応援団を編成し、最初のオープニングでは団長が意気込みを示す。わが村のジュリーこと、坂

本勝教(教育委員会社会教育課)さんも他村に負けず元気一杯の所信表明。

わが村の出題クイズは
マジックハンド！

村自慢クイズコーナー、蓬田村からの出題は吉田清光(中沢)さん宅で使用していたという、井戸に食器などを落とした時に拾うための鉄製道具。現代用語では、マジックハンドでした。

特産品PR合戦では、
桃太郎(トマト)を主役に！

今、蓬田村にとって忘れてならないのがトマトの桃太郎。名付けてスーパートマト桃太郎です。

特産品PR合戦は、この桃太郎を題材に、青年会の全面的な協力で出来上がりました。今回、主役の桃太郎を演じてくれたのは、高田宏亨(郷沢)さんで、会場狭しと動きまわり、得難いキャラクターと人気を博しました。

郷土芸能は、石川流・
木戸流の民謡手踊！

郷土芸能紹介コーナーには、石川流と木戸流の手踊の方々十一名に出演していただき、「津軽よされ節」「津軽三下

り」「津軽じよんから節」の三曲を披露。独特の振り付けに、割れんばかりの拍手でした。

歌合戦はランナーで勝負！

最後の対抗戦となった歌合戦は、山口昭二(中沢)さんがランナーを歌う後ろで、消防団員(三名)がメタルミツク防火服を着て演技し、三点を獲得しました。

ゲスト歌手は、
山川豊さん、原田悠里さん

ゲスト歌手は演歌の山川豊さんと原田悠里さんで、山川さんが「北斗星」を、原田さんが「母ごよみ」を歌い、会を魅了しました。



銅賞入賞は東北以北初！

パッチワークで本村出身の倉谷さん

青森市のホテルサンルート
の地下で、郷土料理店「いず
味」をお母さんの初枝さんと
一緒に経営する倉谷まゆみさ
ん（阿弥陀川出身）が制作し
たパッチワークの作品が「ユ
ザワヤ創作大賞展」ユザワ
ヤ芸術学院（東京）主催で、
東北以北では初めての銅賞に
入賞しました。



初めて手掛けた
作品が入賞！

同展は、手芸、工芸、絵画
など様々な創作作品を対象と
した全国規模のコンテストで、
今年で四回目を迎えました。

倉谷さんの入選作品は、「大
脱走」で、初めて手掛けたパ
ッチワークの作品です。

パッチワークは
自己流！

パッチワークを始めるきつ
かけは、生け花の背景を飾る
ために作った毛糸のタペスト
リーがお客さんからとても好
評だったこと。それから、布
に対する興味を深めたそうで
す。

この春までは、めったに針
を持つこともなかったという
倉谷さんですが、「本を読ん
で作り方を勉強しようとした
けれど難しく」というよう
に、網から逃げ出す魚やカニ
を描いた「大脱走」は全くの
自己流の作品です。

素朴ながら
躍動感のある作品



パッチワークというと、思
い浮かべがちな、幾何学的な
細かい細工は使わず、アップリ
ケ風に描いた、素朴ながら躍
動感のある作品となっており
ます。

倉谷さんは、普段忘れがち
な古い切れなどを活用してこ
の作品を作りました。
「これからも、これを契機
にパッチワークに挑戦して行
きたい」と語る倉谷さんです。
おめでとうございました。

火事ならまかせろ！

消防団火防演習実施

『青森地方気象台が、九月
二十二日（金）、午前五時強
風波浪注意報ならびに乾燥
注意報を発令、当村におい
ても午前七時ごろから南東の
風が十一メートルとなり火災
警報発令中のところ、不幸に
して午前七時二十九分頃役場
当直室へ高根部落より火災発
生の通報があり直ちに無線放
送により報知した。
強風のため飛び火し、隣接
公民館にも延焼の恐れが出て
いる。』
という想定で、吉田演習指
揮者（消防団副団長）のもと
秋季火防演習が実施されまし

た。
当日は、午前七時三十分の
サイレンを合図に、八分団の
団員（一九五名）がきびきび
した態度で、実習をこなし普
段の練習成果を発揮しました。
閲兵、分列をした後、高田
副団長より講評、坂本団長よ
り「今までの訓練の成果が、
実際に火災が発生した場合に
役立つので、普段からの練習
は頑張って下さい」と訓示を
受け、八戸村長からは「これ
から農繁期を迎え、乾燥機な
どを使いますので、火災の予
防には、住民に指導しながら
十分注意して下さい」と挨拶
がありました。

最後に、ポンプ車八台で村
内をパレードしました。



108キロをタスキがつかないだ!

第7回陸奥湾一周駅伝競走大会

昨年よりも健闘して十七位!

十月一日(日)午前七時半、「健脚でつなげ郷土の和と心」をスローガンに、第七回陸奥湾一周駅伝競走大会が、むつ市の運動公園をスタート。県内六十七市町村の代表一、二百七十三名が心を一つに青森市の県総合運動公園までの十九区間、百八キロをたすきで引き継ぎました。



この日は、時折小雨がパラついたものの、晴れ間ものぞき、まずまずの駅伝日和。わが蓬田村チームは、当初から毎年参加しており、今年で七回目の出場です。

この日は、時折小雨がパラついたものの、晴れ間ものぞき、まずまずの駅伝日和。わが蓬田村チームは、当初から毎年参加しており、今年で七回目の出場です。

監督、マネージャーを含め二十四名編成。

無事こなし、全力を出し切る意気込みで本番にのぞみました。

結果は、昨年より二位上回る部の十七位。

コース途中で待ち構えた家族の応援も、大きな力になっているようです。

中学生選手の感想をひとつずつ掲載します。

▽疲れた、あと走りたくない。(越田笑子)

▽二回目だけど、去年と違うコースを走った。走る所が違えば気持ちも違う。(森明美)

▽もう走りたくない、でも楽しかった。(小鹿敏子)

▽走っている時、コースがどれだけ残っているのかわからなかった。来年も走ってみよう。(武井純一)

▽やつぱり疲れた。残った十人での一斉スタートで、最初はゆつくり走り、三キロ地点で一挙に七人を抜いた。(田中信孝)

▽当日は、雨と風があつたので、選手がかわいそうだった。でも、昨年より順位が上がったので安心した。(坂本満)

▽ぎつかった。来年も走るとい最初一人抜いた。その後二人抜いた。最初、力をためておいたので自信はあった。最後は全力疾走だった。(佐井皇)

▽最初は緊張したが、タスキを渡されて、よしやるぞ!と思つた。とにかくラストは頑張った。来年も走りた。(小鹿聡)

今回参加した方々を紹介いたします。

▼総監督 坂本洋一(中沢)

- ▼監督 中川信義(郷沢)
- ▼監督 工藤義正(宮本)
- ▼マネージャー

- ▼一区 坂本万蔵(長科)
- ▼二区 武井友克(蓬田)
- ▼三区 八幡敏雄(高根)
- ▼四区 富士晃(郷沢)
- ▼五区 武井純二(蓬田)
- ▼六区 佐井邦彦(広瀬)
- ▼七区 中村大八(蓬田)
- ▼八区 大川誠治(広瀬)
- ▼九区 越田茂弘(瀬辺地)
- ▼十区 田中信孝(広瀬)
- ▼十一区 稲葉宏(高根)
- ▼十二区 森明美(阿弥陀川)
- ▼十三区 柿崎誠(広瀬)
- ▼十四区 小鹿敏子(長科)
- ▼十五区 長谷川圭介(瀬辺地)
- ▼十六区 越田笑子(瀬辺地)
- ▼十七区 森淳一(阿弥陀川)
- ▼十八区 小鹿聡(長科)
- ▼十九区 野藤健純(阿弥陀川)
- ▼十九区 佐井皇(宮本)
- ▼補欠 坂本満(中沢)



郷土芸能を創る

みんなで鳴らそう「玉松太鼓」

昔はたくさんあった郷土芸能も世の移り変わりとともになくなつてまいりました。

今年は、村制施行百周年。記念に村民が他に誇れるものを残そうと思案して生まれたのが、この玉松太鼓です。

郷土芸能は一人ひとりがつくる

いくら立派な太鼓や音譜があつても、それだけでは「玉松太鼓」が郷土芸能とはならないのです。

つくる

小さい子どもから、おじいちゃんおばあちゃんまで「これ玉松太鼓だじやない」と音を聞いて分かるようになって始めて、本当の「玉松太鼓」になるのです。

上手へたは問題外です。昔そうであつたように、我先に芸を出し、(太鼓を叩き)、楽しんでいくうちに、郷土芸能ができ上がってきます。

急がずに、じっくりとなれ親しんでいただきたいのです。

今、リーダーが

バチを握つた!

さて、十月五日(日)、玉松公民館で、玉松太鼓の第一回目の練習が行われました。この日集まった参加者は、農業、漁業、商工、行政、青年関係の団体からリーダーとして推薦された計三十名の男

女。ほとんどが、太鼓に興味のある方ばかりですが、初めてバチを握るとあつて、ちょっと緊張した様子でスタートしました。

最初の指導は、基本的なバチの打ち方や姿勢を習い、次にリズム感を養うことを始めました。

練習が進むにつれ、段々とテンポの早いものとなり、参加者は、汗を流しながら奮闘。終わる頃には、上出来の太鼓判を押され、みんなひと安心。

練習は一週間に一度で!

一度で!

今後の練習は、一週間に一度位、玉松公民館で行われる予定になつており、正調玉松太鼓が聞けるのが今からとても楽しみです。

また、常時、太鼓を打ちたい人を募集しておりますので、いつでも気軽にご参加下さい。詳しいことを知りたい方は、社会教育課へどうぞ!

教育長日報

教育長 奈良 尹

きつといいものにして残したいと決意する。

二七—二〇三八中学校のデンワだ。芸術の木立先生に幼稚園の壁画を依頼する。

十月四日に県の幼稚園研修会を控えての環境整備である。こういう機会でもなければ、綺麗にされなれと思う。

雨ふり続きで思うように進みませんとも言つていた。

どうぞ可愛らしい幼稚園児に楽しめるものが出来ますよう成功を祈り、先生のご協力に感謝しつつ。

むつ湾駅伝が十月一日にスタートする。結団式をやつたが中・高校生区間で頑張つてもらつて昨年の十九位から一歩でもの氣勢を挙げる。

九月二十五日、青年の船に派遣した三名(福井、木戸、飯田)が掃村挨拶に訪れる。

「大へんよかつた」ということだったが、これをどのように村の活性化に役立てるか、これまで三十名位は海外経験者があるというから。

この機会に検討課題としたものです。

一〇三の作柄指数。十月の稲刈、多忙な皆さんの頑張りを祈ります。

たくさんさんの仲間ができました！

青年の船随想録① 福井幸正

泣き、笑い、喜びを分かち合った二週間の「若者たちの旅路」が終わった。大海原を突き進む大型客船「新さくら丸」の中で、若者たちは連帯を培い、友情を深め、国際感覚を養って来ました。「参加して良かった。新しい自分が見えてきた」と口々に語る団員たち。

第三回青森県青年の船は、若者たちに有形無形の財産を残しました。長い航海で彼らは何を考え、何をつかんだのか？ 今回から、三回に分けて青年の船に乗った方の報告を連載します。



郷沢
福井幸正さん

最初の夜、船長招待パーティーがあり、料理はホテルのパーティーなみの豪華さだった。

船長から団員に
バスデープレゼント！

船の料理はホテルなみ
第三回「青森県青年の船」は一回目の船と同じ「新さくら丸」で、九月十日（日）、雨の中、青森港を出港し、フイリン諸島に向かった。

今回の寄港地は、フィリピンのマニラと韓国の釜山、慶州になっている。

船内では研修がみっちり！

出港して次の日からは、眠

さをこらえながら聞いた講義、本県の発展について話し合ったブロック別ディスカッション、「青少年活動とリーダーの役割を考える」をテーマに話し合ったゼミナール、少しでも踊れるようになりたいと思いついた社交ダンスクラブと日程が目白押し。



運動会は楽しい！

船に乗って三日目、台風の影響で船体が大きく揺れ、船

酔いで寝込む団員もかなり出た。揺れは次の日になっても治まらず、楽しみにしていた洋上運動会が延期になった。そして、前日までの揺れが、多少残っていたが団員は船酔いを忘れ、組のため闘志を燃やして綱引きや騎馬戦にのぞんだ。応援合戦では男性が化粧をし、気持ち悪いと言われながらのチアガールと、今までにない楽しい運動会だった。

仲間がたくさん出来た！
船に乗って六日目、自分にとって初めての異国の地に足を入れた。

最後に一言、「青年の船」に乗ってたくさんさんの仲間が出来たので、参加してよかった。次回は、マニラの寄港地活動から木戸美和子（瀬辺地）さんが報告します。

暮らしと電気安全

電気器具は説明書をよく読んで！

(財)東北電気保安協会

11月15日は、七五三です。七五三は3歳と7歳の女の子、5歳の男の子を神社に連れていき、こどもの発育の感謝と今後の成長を祈願する親心から始まった行事です。

最近、ほとんど全国的な都会中心の派手な風景が見うけられますが、もともとは日本の農村からごく自然に生まれてきた風習です。

ところで小さいお子様達でも、自分のことやお母さまのお手伝いなどで、そろそろ電気器具を扱うことになります。

使用方法やプラグの差し込みには、感電防止から十分注意するようご家庭の教育をお願いします。

しげとし号優等賞

村畜産共進会で森秀夫さん金的

九月二十二日(金)、村肉牛生産組合(細谷靖信組合長)が、畜産振興と飼育技術の向上を図ることを目的に、村営牧場パドックに村内の飼育農家を集めて、肉牛(黒毛和種)の第六回蓬田村畜産共進会を開催しました。

早朝から農家の人達と農協、役場職員が出て、一頭一頭の

体重を計ったり、体高を測定した後、厳しい審査を受けました。今回出品された牛は、昨年暮れから今年春までに生まれた四ヶ月から十ヶ月の子牛約三十頭のうちの十二頭で、いずれも成育順調で、審査員を悩ませていました。

農家の特段の奮闘と、関係機関のご指導を賜りたい」と挨拶をしました。また、受賞者を代表し森秀夫さんが「飼育の技を磨き、村畜産振興に頑張ります」と謝辞を述べ共進会を終了しました。入賞者は次のとおりです。

受賞者一覧

●メスの部

優等賞	しげとし号	森 秀夫
1等賞	みずほ号	細谷 靖信
2等賞	ゆうき号	川内勇次郎
3等賞	たにもと号	室谷 春男

●オスの部

1等賞	神岩田7号	盛 秋雄
2等賞	水 江	倉谷初三郎
3等賞	哲中6号	中川亮一郎



まず、メスの部十二頭から行われ、発育状況、資質、皮毛などのチェックが数人の審査員によって、予選、最終審査と行われました。審査を受ける牛よりも飼育農家の緊張が伺われ、一次審査をパスしてようやく表情もやわらぎ、周囲の激励を受けている人もいました。この結果チャンピオンには「しげとし号」、森秀夫さんの牛と決定しました。表彰式では、上位入賞農家にたくさんの副賞などが、細谷組合長から手渡され、労がねぎらわれました。八戸村長が「村としても飼育農家、頭数の増加に努めて

愛の献血ありがとう!

9月13日に協力された方

中 沢	坂本 重彦	坂本 亮	川島 善光
"	工藤 貴美男	坂本 比士	相馬 憲久
"	野口 すわ	坂本 ミヤ	坂本 豊
"	坂本 重雄		
長 科	藤村 克彦	広田 輝明	坂本 斌農
"	小鹿 重一	古川 正隆	工藤美智子
"	松本 龍平		
阿弥陀川	青木 実	坂本 真知	高木 融道
"	青木 みつ子	八戸 季子	森 正象
"	青木 敬	八戸 武武	小鹿 義晃
"	沼田 良一	八戸 正春	
蓬 田	津島 博文	清水 淳範	小松 きみ
"	細谷 昭子	津島 永孚	武井 牧仁
"	津島 俊則	神 順子	芳賀 作
"	長内 政昭	武井由美子	中村美穂子
宮 本	太田 信雄		
郷 沢	小野 登江	高田 重義	高田 珠子
"	高田 恵美	福井 等	
瀬辺地	越田 茂弘	越田 清治	飯田伝四郎
"	山館 輝久	坂本 登	越田 守
"	田中 武		
広 瀬	川崎 幸治	柿崎 真人	佐井 勝治
"	稲葉裕美子	柿崎 勝博	木浪 淳子
"	佐井 浩行	柿崎 誠	川崎 伸司
高 根	稲葉 寿	八幡 昭子	佐井良百生
"	稲葉 幸雄		
村外の方	金村 正吉	安田 晃	福川 崇
"	小田桐雅典	猪股智栄子	坂本 勲
"	佐藤 良治	平 克晃	木村 春美

いつでも元気に！



蓬田村敬老会

八十八名の方々をお祝い！

九月十四日(木)、村農業者
トレーニングセンターにおい
て、約三百六十人の老人と来
賓五十人が出席して、蓬田村
敬老会が開催されました。
初めに、物故者に対して黙
とうをささげました。

この後、九十歳以上の長寿
者、久慈タキ(広瀬)さん、
松本ソワ(長科)さん、久慈
サナ(瀬辺地)さんや、米寿
者(八十八歳)一人ひとりに
顕彰状と記念品を贈り長寿を
お祝いしました。

また、九十歳を迎えた三人
の方には奈良岡勇造東地方福
祉事務所次長から、県知事顕
彰の伝達がありました。

引き続き、婚姻五十年以上
健在夫婦の方々に記念品の贈
呈、九十歳以上の長寿者に花
束贈呈、七十七歳の長寿者に
安全つえが贈呈されました。

来賓の津島村議会議長から
は「長生きして村の発展のた
めにご助力をお願いします」
とお祝いの言葉を頂き、最後
に、出席者全員で万歳三唱で、
めでたく締めとなりました。

アトラクションは、日本郷
土芸能保存会(鳴海昭仁代表)
の和太鼓、三味線の曲弾き
や、蓬田幼稚園児の遊戯で、
会場から盛んな拍手が送られ
ました。

また、会員自らが、カラオ
ケを披露する場面もあり楽し
い一日となりました。

20万円 社会福祉に 役立てて！

蓬田 かほり さん

蓬田さんは、社会福祉に役
立て下さいと毎年寄付してお
り、今年で七回目になります。
九月十九日(火)、このた
びの益金の一部二十万円を寄
付しました。

蓬田さんは、地元でスナッ
クを経営している関係上、お
客様のためにカラオケ大会を
開催し、この収益金を少しま
も社会福祉に役立ててもらお
うと寄付し、同協議会に感謝
されています。

「このお金は、お客さんの
善意のためものです。息の続
く限り頑張ります」と話して
いました。

ありがとうございました。



歌手で、スナック経営者の
蓬田かほり(坂本志美子)さ
んが、このほど、社会福祉に
役立てて下さいと、蓬田村社
会福祉協議会長の坂本豊道さ
んへ二十万円を手渡しました。
坂本さんは、毎年、青森市
文化会館を利用して、チャ
リティカラオケ大会を開催し
ており、今年も九月十日新曲
「瞽女(こぜ)吹雪」の発表を
兼ねて開催しました。

わたしのアイデア

11

健康クッキング

八幡富士子

高根
食生活改善推進員



●ライスコロツケ

●材料（5人分）

白米 2.5カップ／餅米 0.5カップ／ちりめんざこ30g／チーズ 100g／マーガリン大さじ2／塩少々／コシヨー少々／梅肉少々／小麦粉適量／スキムミルク適量／溶き卵適量／食パンのみみ5mm角に切る／揚げ油適量

暑くなると三度の食事もおっぱいものよりしょっぱいものやさっぱりしたものの方が好まれ食卓へ上る機会も多くなりがちです。

子どもは胃をはじめ消化器管が小さく働きも十分でないので三回の食事だけでは一日に必要な栄養分がとれません。その不足分を補うのがおやつです。

チョコレートやスナック菓子などのおやつは手軽であっても糖分や塩分がけっこう多いので目先を変えたらごはんでも喜んで食べてくれるのでは？と思えばほんにマーガリン、ちりめんざこ、塩、コシヨーを混ぜて十五〜十六等分、しその中に1cm四方に切ったチーズを入れたものとチーズの代わりに梅肉を刻んで入れたものをスキムミルクと小麦

お母さんの愛情入りおやつ。
チーズ入りは子供に喜ばれ。
梅肉入りは年配者の方に。



粉を合わせたのにつけ溶き卵とパン粉の代わりに食パンのみみを5mm角に切ったのをつけて中温の油で揚げて食べたら、一味違ったごほんのおいしさと食パンのみみのサクツと香ばしくさっぱりした味にびっくり！
これを牛乳と一緒に食べるとお母さんの愛情入り手作り健康おやつじゃないでしょうか。
チーズ入りは子供に喜ばれ、梅肉入りは年配者の方に喜んでいただきました。

●つくり方

- ① 白米と餅米と混ぜて洗い、炊く。
- ② 炊いたごほんにマーガリン、塩、コシヨー、ちりめんざこを混ぜる。
- ③ ②を十五〜十八等分にする（一〇〇gくらい）
- ④ ③のものにチーズを1cm角に切ったものの中に入れて、梅肉を刻んだものの中に入れる。
- ⑤ ④の形を整える。
- ⑥ ④を小麦粉とスキムミルクを混ぜたのにころがす。5mm角に切ったパンのみみの順につけ中温の油で揚げます。
- ⑦ レタスをしきミット、レモンなど添えて盛り付けます。

〈応用〉

チーズ入りは子供。
梅肉入りは年配者。

年金受給権者が
死亡したときは
速やかにお届を！

もし、年金を受けている方が亡くなり、年金を受ける権利が消滅したのに年金の支払いを受けたときには、過払いになった年金を返納しなければなりません。

このような事故を防ぐため、年金を受けている方が亡くなったときには、速やかに「死亡届」を提出することになっています。

また、年金を受けていた方が、生存中に受けられるはずの年金を受け取らずに亡くなったときには、配偶者、子、父母など一定範囲の遺族の名で「未支給金の請求」をすることが出来ます。

▼持参するもの

○年金証書

○印鑑

○添付書類をとるお金

11月19日(日曜日)は村制施行100周年

記念碑除幕式・式典・祝賀会

毎戸への記念品は

ヒバ製名入り表札

村は百才になりました。

明治二十二年の町村制施行と同時に誕生したわが蓬田村は、今年ちょうど百年目を迎えました。

このことをお祝いするとともに、次の百年をより意義ある一世紀にしようとして来たる十一月十九日に各種の行事が開催されます。

玉松台に記念碑を建立

行事の第一弾は記念碑除幕式で、「先人の遺徳を偲(しの)び安住の楽土を築かん」と刻まれた石碑が玉松台にお目見えします。

式典での表彰は二三四名

第二弾は、十時から蓬田中学校体育館で挙行される記念式典で、県知事、国会議員等多数の来賓をお迎えし各般にわたる功労者一三四名を表彰します。

あわせて、村表彰条例による表彰(十四名)と、スローガン入賞者の表彰も行われます。

なお、この式典は役場に申し込むと一般の方々もご覧になれます。

祝賀会は村始まって以来の一大宴会になりそう!

行事の第三弾は、十一時三十分から蓬田村農業者トレーニングセンターで開催される記念祝賀会で、先に一般参加者を募ったところ総勢七百人規模の宴会となる見込みです。

祝賀会では、百周年を契機に新しく創造された郷土芸能「玉松太鼓」が初めて披露されるほか、再生された「蓬田音頭」「蓬田小唄」の披露、村内グループによる「民謡手踊」、若者のバンド「ザ・キッド・ボーイ」によるオリジナル曲「百年節」、クラウンレコードの「蓬田かほり」さんのショーなどが予定され、にぎやかなイベントになりますので、ご期待下さい。

また、この日には、毎戸にヒバの名入り表札が配布されることになっています。

年賀ハガキのご注文はお早目に!

陸奥蓬田郵便局

今年も年賀ハガキ発売の時期が近づいて来ました。当郵便局では、11月2日(木)、発売にさきがけて、ご希望の皆様にお渡し出来るように予約を受付けしております。

ご希望の方には配達も致しますのでご利用をお待ちしております。

- ① 寄付金なしのハガキ.....41円
- ② 寄付金付き、絵入りハガキ.....46円

(寄付金付きは3種類あります。)

税務等個別無料相談開設の

お知らせ

蓬田村商工会

蓬田村商工会では、専門の税理士の方による税務等個別無料相談を開設しますので、お気軽にご利用下さい。

▼相談日

十一月十六日・十七日

▼時間

▼場所

蓬田村商工会館

▼担当税理士

木村繁先生

午後一時から五時まで

北欧五ヶ国視察記

村長 八戸 良次郎

青森県町村会海外視察団の一員として北欧四ヶ国の福祉施設と、伝統文化を訪ねる機会に恵まれ、村民の皆さんに深く感謝申し上げます。

フランスの視察は文化を主としてでありましたので併せて五ヶ国でありました。

一行十二名。九月二十三日成田空港発北廻り。二十四日アンカレッジ、ロンドン経由、コペンハーゲン（デンマークの首都）空港に到着。世界的に有名な童話、アンデルセン物語の地である。

施設見学の箇所も多いので午後四時水中翼船（百五十名乗り）で隣国スウェーデン第二の都会マルモ（人口二十三万）港につく。市内見学の後、初めてのホテル宿泊。

二十五日午前、市立老人ホーム（リンドガーデンサーピスセンター）視察、午後コペンハーゲンに帰り、ホテル、リッケンセンター（現代版老

人の村）見学。千二百名の老人が十六階建ての施設で暮らしており、福祉先進国と見受けられた。

デンマーク国は、二十二%の消費税とのこと。



スウェーデンでは日本大使館を訪問。通訳なしで話しかけてホッとしたり。米と牛乳は日本より安い。

二十八日夜六時、豪華客船（三万トン・船中泊）によって、フィンランド国首都ヘルシンキへ。（二十九日となる）各種市場、大聖堂、砕氷船等見学。翌日ヘルシンキ発パリへ。世界の観光地ベルサイユ宮殿、ノートルダム寺院、エッフェル塔、凱旋門など視察。台風などのハプニングで一日待機。

北廻りでなく、飛行機は空にて。バイカル湖上空で中国。北京空港へ大連空港へ成田着。（時差修正十月四日夜）帰宅。

施設見学の内容等色々整理の上、視察記を本誌を通じて随時ご報告すること致します。

老人研究所、オスロオリンピックジャンプ台他見学。二十七日、オスロ発。再びストックホルム（スウェーデン首都）へ。ダイナマイトの発明者、ノーベルの地である。市庁舎見学、老人病院訪問。

『見つめよう郷土の心 築こう安らぎのさと』

100周年のスローガン決定！

10月13日、蓬田村スローガン審査委員会（役場課長会議）で応募総数 131点を厳正に審査した結果、入選作が決定しました。

作品は、小学校・中学校を初め一般の方、遠くは東京都在住の方からもご応募がありました。ありがとうございました。

今回入選したスローガンを考えてくれた方は、蓬田中学校3年、田中信孝君（広瀬）です。田中君は、11月19日（日）に挙行される村制施行百周年記念式典の席上で表彰される予定になっています。

おめでとうございます。

赤十字思想普及ミニ知識

シリーズ⑦

赤十字事業…「赤十字の講習」三つの講習

●家庭看護法

家庭に病人がでたときの看護の仕方や病気の予防に役立つ「医学的知識」、ねたきり老人の看護の仕方や健康管理、子どもの健康増進と事故防止など、明るい家庭づくりに必要な知識や技術を指導します。

●救急法

思わぬ災害や事故にあった人、急病になった人への対応の仕方、緊急手当の仕方、医師の手にわたすまでの応急処置としての「人工呼吸」などの知識、技術を指導します。

●水上安全法

水の事故から人命を守るため「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「人工呼吸と応急処置」などの技術を中心に指導します。赤十字は以上の三つの講習を通して、いざという時に役立つ知識と技術の普及につとめています。

村赤十字奉仕団では、今夏の玉松海水浴場事故等を踏まえて、十一月中に中央公民館において救急法の講習会を行いますので多数参加下さい。（次回は「社員増強運動月間のお知らせ」です。）



談話室



No.21

がんばる

長谷川圭介さん
瀬辺地

ログキャビン造りは楽しい！
今回は、手造りのログキャビン（丸太小屋）造りに夢中になっている瀬辺地開拓の長谷川圭介さんに取材しました。
長谷川さんは、昨年八月号の「がんばる」コーナーで登場して頂いた長谷川拓司さんの弟で、五年前から手掛けたログキャビンも見事に完成し、このたびは新たに挑戦中であります。
現在、製作中のログキャビンは約七坪位で、来年中には完成させたいと意欲十分。

使っている材料は、カナダ産のカラ松で、杉と比べるととても堅いそうです。
「この、カナダ産のカラ松は個人では手に入らないので、製材所に依頼して購入しました」とだんだん材料にも凝って来ました。
先日、一坪のログキャビンミニチュアを制作し、現在、青森市の小林ハードウェア店前に展示しておりますが、お客さんにとっても人気があるそうです。
「二度ご覧になって下さい」と自作の作品の出来上がりに満足気味。

彼は、今年十月一日に行われた陸奥湾一周駅伝競走大会に、「走らせて欲しい」と積極的に立候補し、見事な成績を残しました。
「来年はもっと頑張る」と意欲十分の長谷川さん、花の独身を演じながら、ログキャビン造りに今日も頑張る。



みくつけた 21

昔はこの砂浜にでもいて、蓬田村では「ベコ」と呼ばれていた虫を見つけました。この虫をエサにテトラポットで魚釣りを楽しんだ方も多いいと思います。
今、村の海岸も整備が進み、次第に砂浜が無くなり「ベコ」の住家も無くなりました。
この「ベコ」は、正式名称を「はまとびむし科ひげなかりはまとびむし」と言ひまして、北海道から本州に生息しているそうです。
いつまでも、生き延びてほしいものです。

○11月行事予定

日	行	事	担当
23	東青地区ミニバレーボール大会及びママさんバレーボール大会（農業者トレーニングセンター）		東郡体育指導委員 連絡協議会
19	グセンター）		総務課
17~16	村制施行百周年記念式典・祝賀会（蓬田中学校体育館・トレーニングセンター）		村商工会
15	税務等個別無料相談開設（午後一時から五時）蓬田村商工会館		蓬田中学校
12	東郡合同音楽会		蓬田小学校
7	父親参観日		民生課
5~4	一歳半児・三歳児健診（中央公民館）		総務課ほか
	第九回村民祭（蓬田中学校体育館、農業者トレーニングセンター）		

けつばる蓬田人 ⑭

システム開発部 武井 健三さん

株富士銀行

システム開発部
調査役

武井 健三さん



ると、自分は東北人だ！青森県人だ！原点は蓬田だ！と強く沸きたつ『故郷魂』を感じます。

高校卒業と同時に富士銀行青森支店に入行し、四年間営業部門を担当、社会人としてのイロハ、並びに銀行業務の知識を得、昭和五十年四月に初めての転勤により東京勤務となり以来十四年、銀行の事務合理化部門であるコンピュータ・セクションでプログラミングを体得し、更にシステム内容を全国各営業店に知らしめるための手続集編纂へんさん

等を経て、現在は、システム開発部の中の企画部門を担当し、コンピュータの導入計画立案並びに事務センターの維持運営に関わる予算策定等、日夜奮闘する毎日です。

蓬田村より牧場内のパーベキユ一案内が載っていました。内心びっくりする傍ら喜びを覚え、今度帰省時には是非立ち寄ってみたいと思っています。

最後に、いつまでも味わいのある村であることと村民の皆様のご健勝を願いつつ末文と致します。

まずは、蓬田村村制一〇〇周年を心よりお祝い申し上げますと共に、歴史と共に村制に携わった諸先輩、皆様方に深く敬意を表します。

故郷蓬田を離れて早や十四年経ちますが、『故郷未だ忘れ難く』で、ふと、我を顧み

そこには青森県各市町村に於ける行事、催物等が観光案内として記載されており、当



めも

▶現住所/埼玉県春日部市大沼2-71の105 ☎048-735-6477 ▶生年月日/昭和27年12月23日 ▶出身/蓬田/武井一郎氏次男 ▶家族構成/妻(美津子)・長男(啓) ▶好きなもの/ゴルフ・スポーツ観戦・読書 ▶経歴/青森県立商業高等学校卒業(昭和46年)・(株)富士銀行青森支店入行・(昭和46年~50年)・(株)富士銀行本店勤務(昭和50年4月)・業務管理部システム開発室・総合事務部・システム開発部を経て同調査役に就任(昭和60年1月~現在に至る)

戸籍の窓



人口と世帯数 (9月30日現在)

総人口 4,199人
男 2,020人
女 2,179人
世帯数 1,042世帯

9月受付分

お誕生おめでとうございます

工藤 泰資 (洋一) 長男
 (京子) 二子
小鹿 裕也 (博幸) 四男

おくやみ申し上げます

森 正光(阿弥陀川 68歳)
吉崎慶次郎(蓬田 78歳)
小鹿 百松(長科 88歳)
村上 政秀(阿弥陀川 65歳)
木村 義弘(阿弥陀川 56歳)
坂本 常男(中沢 87歳)

◆編集後記◆

今年がわが村も百歳の誕生日を迎え、とてもおめでたい年となりました。これから、村も二十一世紀に向けて今以上に躍動して行かなければなりません。広報担当として、微力ではありますが、村の皆さんの協力を願います。